

TOTO

フラッシュバルブ施工説明書

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けして下さい。 取付後は、お客様にご使用方法を十分ご説明ください。

安全のために必ずお守りください

取付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

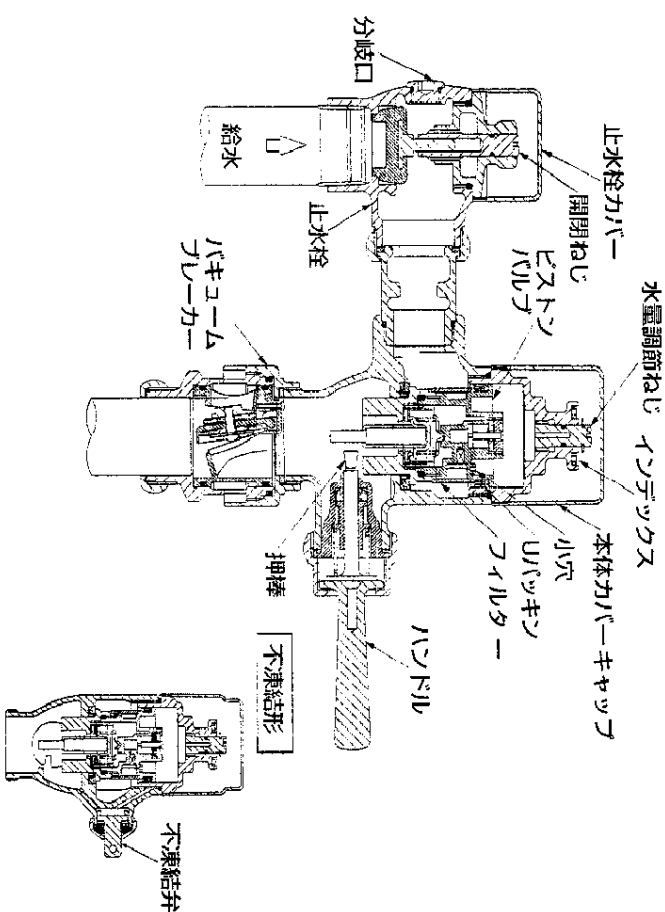
●この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、△注意の表示によってお知らせしています。

△注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があります。を示しています。

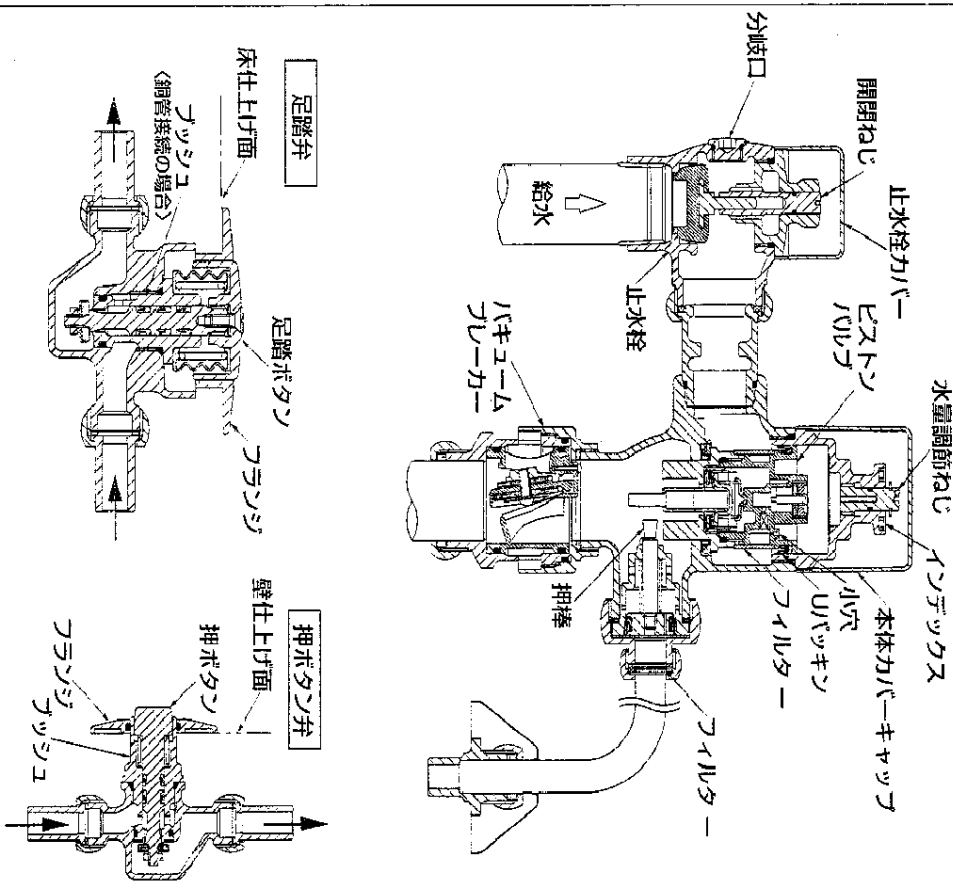
完成図

節水形フラッシュバルブ

*図と現品の形状が一部異なる場合があります。

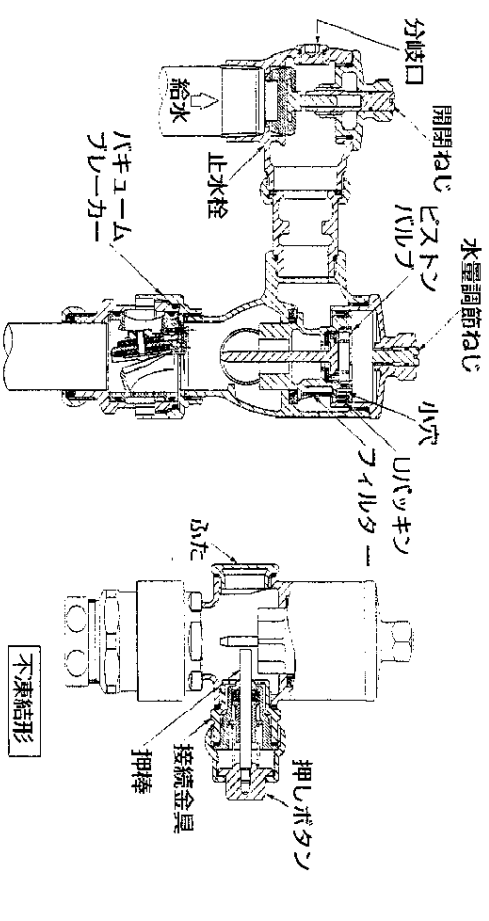
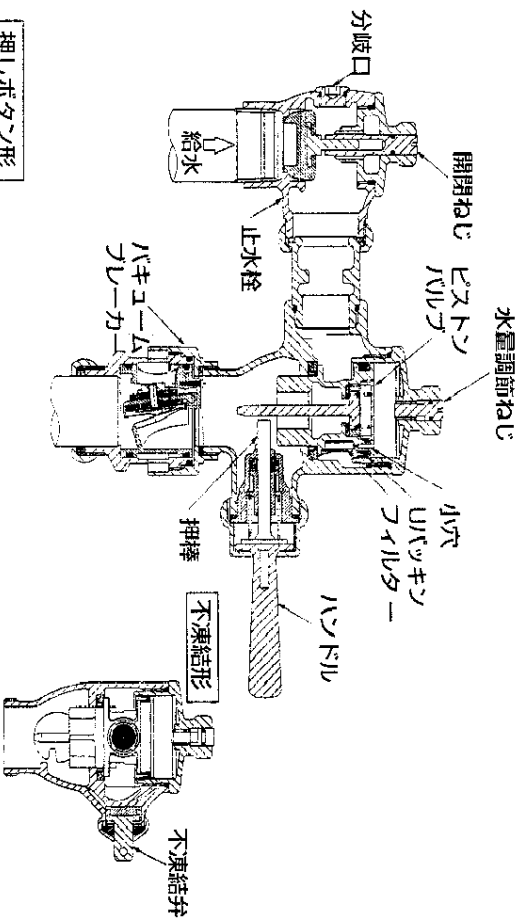


リモコン形

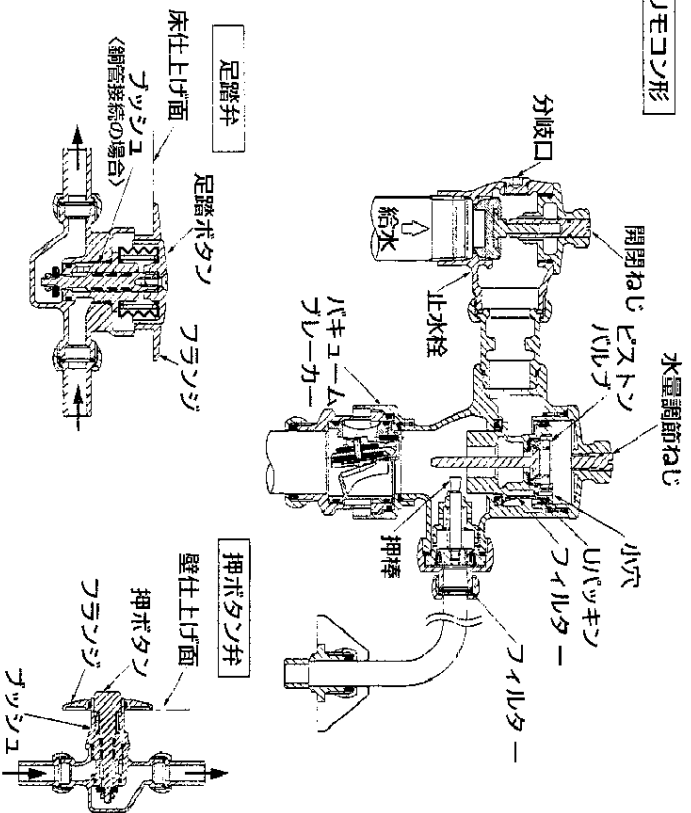


普通形フラスコバルブ

* 図と現品の形状が一部異なる場合があります。

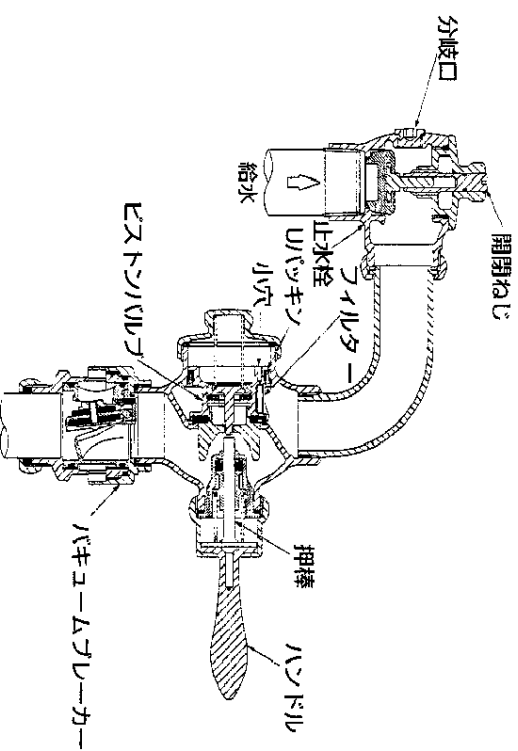


リモコン形



低圧形フラスコバルブ

* 図と現品の形状が一部異なる場合があります。



使用条件

●給水圧力

	最低必要圧力(MPa)	最高圧力(MPa)
節水形フラッシュバルブ	0.07 注	0.75
普通形フラッシュバルブ	0.07 注	0.7
低圧形フラッシュ	0.04	0.1

注：リモコン形をローアウト便器 (C454PV) 又は壁掛けサイホン便器 (C550) とセットする場合の最低必要圧力は0.1MPaです。

⚠注意

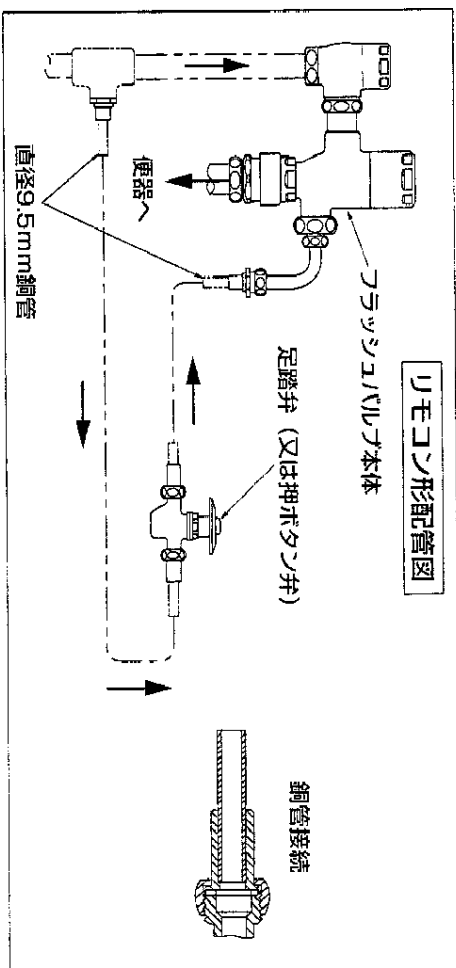
- 給水管接続部までの給水引込管やメーターなどのサイズは25A以上してください。25A未満ですと流動不良につながります。
- 水道水でご使用ください。
- 中水、工業用水、井戸水、海水はご使用にならないでください。
- 凍結するおそれがある場合は必ず不凍結形をご使用ください。

取付け上の注意

- 取付け前に必ず、給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- バルブが垂直 (本体カバーが上) になるように取り付けてください。
- 各接続部は水漏れのないよう確実に接続してください。
- 止水栓と本体との連結管をゆるませると水漏れするおそれがありますので、連結管は外さないでください。

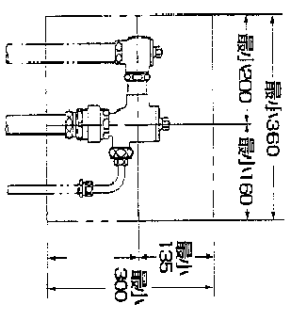
〈リモコン形フラッシュバルブの場合〉

- リモコン形の場合は配管をつぶさないように注意してください。



- ピストンバルブを取り出し、フィルターにごみが詰まったり水が流れ放しになったりしますので、フラッシュなどで掃除してください。また、リモコン形の場合は押棒部のフィルターを取り出し、ごみが詰まったりしないかどうか確かめてください。ごみが詰まると作動が不確実になりますので、フラッシュなどで掃除してください。

- フラッシュバルブ本体は垂直 (本体カバーが上) になるように取り付けてください。本体を壁内などに設置する場合は保守点検のために点検口を必ず設けてください。点検口の最小寸法は右図のとおりです。



- 足踏弁 (又は押しボタン弁) の接続は、直径9.5mmの銅管で給水口をましがえないうちに本体の矢印に注意して行ってください。
- 足踏弁 (又は押しボタン弁) を埋め込む際は、床 (又は壁) の仕上げ面に注意してください。
- 足踏弁配管の際は、給水と直角方向の排水口に水抜配管を接続してください。
- 押しボタン弁の場合は、付属の樹脂製短管をフラッシュ部にはめて、埋込作業をし、壁面の仕上げが終了した後、短管を除いてフラッシュをセットしてください。

水勢及び吐水量の調節

●水勢の調節

フラッシュバルブは水圧の高低によって水勢が変わります。水勢が強すぎると、水飛びを生じたり洗浄音が高くなったりします。また、水勢が弱すぎると、十分な洗浄ができませんので、止水栓の開閉ねじで調節を行ってください。

右回転……水勢が弱くなります。
左回転……水勢が強くなります。

※節水形フラッシュバルブは止水栓カバーを取り外すと開閉ねじがあります。

●吐水量の調節

吐水量の調節をするときは本体の水量調節ねじで行ってください。

右回転……吐水量が減少します。
左回転……吐水量が増加します。

＜節水形フラッシュバルブの場合＞

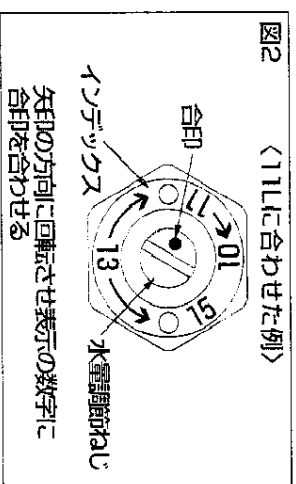
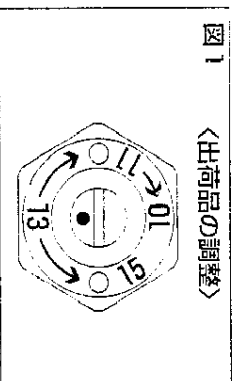
大便器の標準洗浄水量は次のとおりです。

洗浄様式	標準洗浄水量
洗出し式	11L
洗落し式	13L
上記以外	13L

吐水量はほぼ13Lに調節して出荷されますが、標準洗浄量が13L以外の大便秘器とセットする場合は、吐水量の調節を行ってください。

1. 本体カバーキャップを取り外してください。

2. 出荷品は（図1）のようにセットされていますので、水量調節ねじを矢印方向に回転させインデックスの数字と合印を合わせてください。（図2）



3. ハンドルを操作して確実に洗浄できるか確認してください。

注：インデックスに表示されている数字は吐水量の調節が容易にできるように表示した目安です。したがって正確な吐水量を表した数字ではありません。

※洗浄が不完全な場合は、水量調節ねじで吐水量をさらに適正に調節してください。

4. 本体カバーキャップをねじ込み、十分締め付けてください。

再生紙を使用しています。

取付後の確認

確認項目	対処方法
●水は流れますか。	開閉ねじが開いているかどうか確認してください。
●施工部より水漏れはありますか。	水漏れがあった箇所は再度取り出し、締め付け直してください。
●作業中、異常な音はありますか。	ピストンを取り出し、ごみが詰まっていなければ確認してください。
●吐水量は適量ですか。また、水は止まりますか。	①フィルター及びリフトの掃除を下記要領で行ってください。 ・フィルターはぶらしなどで掃除し、十分水洗いしてください。 ・リフトは細い針金で掃除してください。（荷札の針金など） ②押棒部のフィルターを取り出し、ごみが詰まっていれば確認してください。ごみが詰まると作動が不確実になります。

注：ピストンバルブを取めるときは弁座面に乗り上げないように注意してください。

お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご説明ください。

1. 水栓の表面を傷つける以下のものは絶対に使用しないでください。

- ・TOTO水あかクリーナー以外の酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤
- ・シンナー、ベンジンなどの溶剤
- ・TOTO水あかクリーナー以外のクレンザー、磨き粉など粗い粒子を含んだ洗剤
- ・ナイロントわし、ブラシなど

もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いしてください。

2. 水栓の表面に付着した水あかなどの汚れ落としにTOTO水あかクリーナーのご使用をお勧めします。

TOTO水あかクリーナーは水栓に傷をつけずに汚れを効果的に除去します。お求めはお近くのTOTOショールームもしくはTOTOパーセンタールにお尋ねください。

3. 軽い汚れの場合は水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って、汚れをふき取ってください。ひどい汚れの場合は、適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取った後、水洗いし、からぶきしてください。

※付属の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

手渡しできない場合は、工事完了後、ハンドルなどに吊り下げてください。